

しらべるのがいちばん良いでしょう。この図をスペクトル変化に応用すれば、その軌跡から円板大気のひろがり、光球との分離状況が追跡できる筈です。ただ、この図で困るのは大気分離が二重三重に行なわれて同心円板が2つ以上できる場合です。そのときはどうしても輝線プロフィールの解析に力を借りなければなりません。もちろん、この円板モデルにしたがえばプロフィールの計算も原理的にむずかしい点はありません。

結局、この $(H\alpha/H\beta - W\alpha)$ 図を中心に輝線プロフィールも考慮しながら、輝線スペクトルを解析して行く、というのが私の得た新しい分光学的方法の内容です。

しかし、私のムードン滞在はこの方法の着想までで終わってしまいました。図の理論曲線、輝線プロフィールの計算方法など、目下ジュバル氏らとの共同でプログラミングの進行中です。円板大気モデルで輝線強度とプロフィールとが同時にうまく観測を説明しえたときに、はじめてこの方法の有効性がたしかめられるわけで、いまは、それを期待するばかりです。

プラハの IAU 総会では、エルマン女史を主任とする Be 星ワーキンググループの集会でこの方法の紹介を行ない、スレットバック氏、ウジョー氏、ハック女史、ットバックアンドリア女史ら、多くの人の興味をひきました。スレ氏は円板モデルで正常 Be 星とガス殻星の相異を説明することができるか、という質問をよせましたが、今の段階ではまだ何ともいえません。それがいえるためには電離金属線の輝線機構を明らかにしなければならないし、ヘリウム線の問題も残っています。他方、理論面においても、静的大気論を運動をふくむ理論へ発展させる仕事が根本に控えています。そうした一連の発展を経た後でなければエルマン女史やアンダーヒル女史の期待する複雑なスペクトル変化の解明に力をかすわけにいきません。しかし、ともあれ、ムードン滞在 10 か月の間に、今後の Be 星研究に対する一つの扉が開かれたように思われるのです。

ムードンを去る日、生憎の雨でしたがエルマン女史、ジュバル氏をはじめ、研究室の人たちは固い握手で別れを惜しんでくれました。即席のフランス語学習で日本をとおび立ってから 10 か月あまり、下手なフランス語でこれまでよくも討論をやったものだと言さながら寒心？ されるのですが、これも研究室の人たちが辛棒づ

よく私の言葉を聞いてくれたからにはほかなりません。それに甘えてフランス語会話に大した進歩を見せないままパリを離れねばならなかったのが、今となっては何よりの心残りとなっています。

日本学術会議会員選挙の 有権者登録について

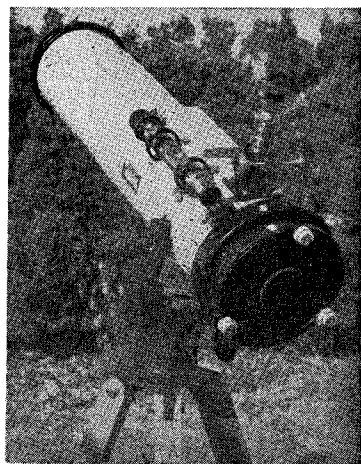
次回の日本学術会議会員の選挙は昭和 43 年 11 月 25 日に行なわれます。ついでには前回の選挙で有権者でなかった有資格の方（天文月報第 60 巻第 6 号 128 頁参照）で登録を希望される方は

1. 大学・研究機関等に属する方は当該機関を通じ、
2. それ以外の方は 東京都台東区上野公園日本学術会議中央選挙管理会 に直接

登録用カードを御請求下さい。登録の期限は 43 年 3 月末日です。



カンコー天体反射望遠鏡



二十
糎
C
G
式
焦
点
距
離
二
段
切
換
天
体
反
射
望
遠
鏡

- ★ 天体望遠鏡完成品各種
- ★ 高級自作用部品
- ★ 抛物面鏡、平面鏡、軸外し抛物面鏡
- ★ アルミニウム鍍金
- ★ 電源不要観光望遠鏡（カタログ要 30 円切手）

関西光学研究所

京都市東山区山科竹鼻 TEL 京都 680057

昭和 42 年 11 月 20 日

印刷発行

定価 100 円

編集兼発行人 東京都三鷹市東京天文台内

印刷所 東京都港区西新橋 2 丁目 22 番 6 号

発行所 東京都三鷹市東京天文台内
電話武蔵野 45 局 (0422-45) 1959

広瀬秀雄

東京学術印刷株式会社

社団法人 日本天文学会
振替口座東京 13595